

平成25年度 第2回 保健師研修会

『語り継ごう保健師活動』

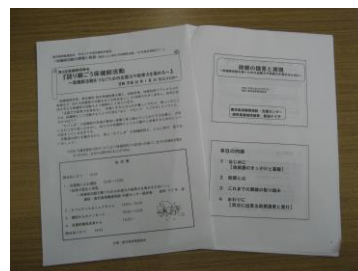
～保健師活動をつなぐための企画力や政策力を高める～

平成26年1月25日(土) 13:30～

先輩保健師の語りや“かごしま”の保健師同志の語り合いを通じて、自己の保健師活動を見つめ直し、自身の役割を考える機会にできればと昨年に引き続き、この研修会を企画しました。

保健師とその卵である学生、総勢72名が参加し、有意義な時間になったのではないかと思います。

そんな研修会の様子を、講師や参加者のことばで報告したいと思います。



原田ケイ子先生（県難病相談・支援センター副所長）講演

テーマ「政策の提言と実現」

～保健師活動を繋ぐための企画力や政策力を高めるために～



今回は、私たちの大先輩で長年の経験の中で政策や事業につなげてきた多数の実績をお持ちの鹿児島県原田ケイ子保健師さんに私たち後輩へメッセージをいただきました。

以下に、原田保健師の講話をご紹介します。

『保健師になったきっかけ』 中学生の時、看護師になろうと決意！

勤務しながらの進学。看護学校で生徒会長として学校改革。学生と両立の外科勤務での学び。

JICAで働きたく助産師を目指す、実習の中での助産師と保健師の活動の違いの中で保健師を目指すことに。

『政策とは』 国や地方自治体が政府として、そこに抱える問題の解決を図り、国民や住民のよりよい生活環境を維持、創造するために示された方向と対応策を示すものである」（NOMA専任講師 村松氏）の定義をもとに自身の政策について提言される。

『これまでの業務の取り組み』

新任期の活動・・・地区診断に基づく健康教育の媒体作成

中堅期の活動・・・実態調査から住民への妊婦教室、職員への職場健診への検査項目導入、患

者・家族会の体制依頼、学会参加、災害時の保健師活動ガイドライン作成
管理期の活動・・・母子計画策定、予防接種過誤防止マニュアル作成、母子感染防止対策事業、
ハンセン病対策、カウンセリング研修、県職員喫煙対策実施要領、就労支援セミナー、
難病センターの運営など地域住民から職員の健康管理まで多岐にわたる事業構築など紹介

～どんな場面でも前向きな発想と行動力のある保健師活動に元気をもらいました～

カフェタイム&シェアタイム「今日の講話から感じたことを共有しよう」



年代も所属もバラバラな10のグループにわかれて、
職能委員が準備した飲み物やお菓子を楽しみながら保
健師への思い、活動への思いをシェアし、それぞれの気
づきや今日からの原動力につながったのではないでし
ょうか。

～全体シェアでの意見をご紹介～

☆保健師の活動は、個の支援だけでなく、個と個をつな
げることも大事だね。

☆困難な時に前に進んでいくことって難しいけど、それ
を引かずに前に進んでいく原動力って何なんだろう。

☆人と人との出会いを大切にしたい保健師活動。

☆調査や人との関わりでの気づきが事業化につなが
っていた。

☆自分の保健師活動の中での優先順位のつけ方について知りたいな。

☆普段は自分の仕事でいっぱいだけど色々な年代の方の意見を聞いて、この場に来てよかった

☆厚労省から出されたものを自分のものにして住民に役立てることが大事だと思った。

☆プラスに変えるということ。自分が学ぶことのステージに上げることがすごいと思った。

☆同じ一日の与えられた時間の中でどうやって効率よく地区診断や施策につなげたのか。



シェアタイムを受けての講師からの助言

『自分に出来る政策提言と実行』

勇気と実行・・・自分が世の中の動きや一般常識、データなど
常にアンテナを張り巡らそう

動いて・・・同じ課、係、横断的に連携、あきらめない

よく見て聞いて・・・自分の思いを引き継いでもらうことが事業が続いていく秘訣。

ポジティブ思考で報告・連絡・相談・・・仲間に相談したり調整したり、日ごろに感謝す
ること大事。

*バランススコアカードで進捗状況とスケジュール管理をすること。

こまめにメモをとる・・・やらないといけないことを列記し、時間内にできること時間外にで
きることを書きながら優先順位をつけ、仕事をしていくことも大事。



参加した皆様のアンケートから

- ☆忙しい業務や意見もされながら“忙しい”と思わずに“勉強させていただく”と思ってやる
ことが大事なんだなと思いました。
- ☆これまでやってきたことの振り返りもできた。
- ☆「政策」と聞くと大変難しいことのように感じますが、地域や県政の課題に1つ1つ、積極
的に取り組むことが大切だと思いました。あと、一押しを忘れないようにしたいと思います。
- ☆ポジティブな気持ちを持ち続けるための日々の訓練、あきらめず進む力は、やっぱり時々み
んなで話をして共有するということができそうです。
- ☆いろいろな年代の人の今の気持ち、意見を聞くことができてよかったです。
- ☆日々の業務の中で地区診断をどのように政策に結び付けるか事業展開できるか悩むことが
あります。たくさんの事業展開をエネルギーにされてきたお話が聞いてとても参考にな
った。
- ☆つらい時も新しく学ぶ。当たって砕ける。
- ☆自分の目指すこと。組織の中で理解を得るための手段。これについて再考したいと考えまし
た。
- ☆誰のために？住民のために。やると決めたら責任をもってやり遂げること。そのために明確
なミッションと熱いパッションを持ち続けることが必要。

**今回のアンケートでは、前回の研修会（保健師活動のあり方～新保健師活動指針
の策定を受けて～中板育美先生）受講後の取り組みや活動で意識していることに
についてもお聞きしました。**

- ☆地区とのつながりを大切にしています。今回の研修会でもありましたが、もう一度地区診断を
見直してみたいと思います。
- ☆指針（ガイドライン）作成中です。
- ☆所内で研修会しました。
- ☆地区診断の意識化、できるだけ1項目でも診断しようと心がけています。
- ☆中板先生のお話を職場でシェアできるよう復命する機会、先輩保健師の話聞く機会を設けま
した。
- ☆その時の決意を机にはさんでいます。
- ☆所内で勉強会を行ったこと。それぞれの役割を意識して働いています。
- ☆費用対効果のことを考えながら仕事をしています。

保健師職能委員から

県内の多くの保健師が、時間や思いを共有できたことに感謝しています。
今後とともに学び、ともに笑い合える時間を過ごせたらと思っています。